深く考える道徳授業とは？

考える活動をうながす紙面構成

注目！

step 1

① 導入 問いをもつ

教材を読む前に、しっかりと問題意識をもつことができます。

●オリエンテーションページ・この本の使い方（4年）

この本の使い方

問いをもつ

この話を通して考えたいことや，問いなどが書いてあります。

step 1

社会のきまり

わたしたちのまわりには、さまざまなルールがあります。ルールは何のためにあるのでしょうか。

22 雨のバスていりゅう所で

今日は、よし子さんがお母さんといっしょに、おばさんの家に出かける日です。ところが、朝から雨がふっていて、家を出るときには、雨はいっそう強くなり、おまけに風もふいてきました。

バスのていりゅう所では、バスを待つ人たちが、雨やどりをしながら、バスが来る方をときどき見ています。

遠くの方に、小さくバスが見えました。

よし子さんは、雨の中へタッタッとかけだすと、ていりゅう所でいちばん先頭にならびました。バスが来たことを知った人たちは、ぞろぞろとていりゅう所に向かって歩き始めました。

よし子さんがしたことは、ルールいはんなのかな。

step 2

考える

考えるためのポイントや，大切な見方が書かれています。

8

② 展開 考える

脚注部のふきだしで、多面的・多角的な考え方をうながします。

キャラクターによる問いかけ

step 2

step 3

③ 終末 まとめる

ふり返りのポイントにそって、学んだことをまとめ、道徳的価値の理解を深めます。

まとめる

まとめとして学習しましょう。

step 3

ルールやマナーは何のためにあるのか、あらためて考えましょう。

広げる

学んだことを，生活の中でやってみたり，もっと深めたりしましょう。

step 4

身の回りにあるルールやマナーを守らなければいけない理由を話し合いましょう。

バスに乗りました。でも、もうざせきは空いていませんでした。「ほら、ごらんなさい。」と言うつもりで、よし子さんは横に立っているお母さんの顔を見上げました。そんなよし子さんに知らぬふりをして、お母さんは、だまったまま、まどの外をじっと見つめています。いつもなら、やさしく話しかけてくれるお母さんです。でも、今日のお母さんは、いつもとはぜんぜんちがうのです。

そんなお母さんの横顔を見ていたよし子さんは、自分がしたことを考え始めました。バスのまどには、大つぶの雨がしきりにふきつけていました。

●出典：岡田実 作／『小学校 道徳の指導資料とその利用2 「雨のバス停留所で」（文部省）による

なぜお母さんは、だまったままでいるのだろう。

9

どうとくのノート（れい）

どうとくのノートには、考えたことや気づいたことなどを、自分の言葉で書きましょう。図や絵を入れてもいいですね。

黒板の大事なこと。

分かったことや，気づいたこと，いいなあと思ったこと。

これからの生活に生かしたいこと。

○月△日（火）○時間を守ると……

時間を守るとは？

・チャイムを守る。
・むだな時間をなくす。
・時間をうまく使う。

守る自分 ちがい 守らない自分

時間を守るとは？
→気持ちがよい生活ができる。
集中できる。

〈分かったこと〉
・時間を守らないと、他の人にもめいわくだけれど、自分にとっても、よくないということが分かった。
・時間を守ると、できることがふえるし、自分のために時間を使える。

〈取り組みたいこと〉
・今、守れていない時間がないか、家の人ともかくにんする。
・計画表を作って、それに合わせて生活する。

step 4

④ 発展 広げる

学んだことを日常生活に広げ、考えを深めていくことで、実践意欲につなげます。

深く考える道徳授業